

平泉文化フォーラム バスツアー



どなたでも参加いただけます!

日時：平成28年1月30日（土）

※本ツアーは日帰りのため、31日（日）のプログラムには参加できません

**集合：岩手大学正門前
（全行程大学貸切バス、バス無料）**

※お車で来学される方は、大学の駐車場を利用できます。（無料）

参加料：1,300円（昼食代）

※衛生上、昼食の持ち込みはご遠慮ください。料金は当日お支払いいただきます。この事業は岩手大学の収益事業ではありません。

定員：35名（先着順）

《行程》

7:50	岩手大学正門前集合
8:00～10:00	移動（平泉文化遺産センターへ）
10:00～11:00	平泉文化遺産センター見学 解説・案内 岩手大学教育学部 菅野 文夫 教授
11:35～12:35	蔵元レストランせきのいち
12:35～12:45	一関文化センターへ移動、到着
13:00～	フォーラム開始
17:25	平泉文化フォーラム終了・移動
19:30頃	岩手大学到着・解散

第16回平泉文化フォーラム

岩手県では、平泉の文化遺産の調査・発掘・研究を行ってきており、その調査結果等を広く県民の皆様方にお知らせしています。この一環として、「岩手県教育委員会」と「いわて高等教育コンソーシアム」、岩手大学平泉文化研究センターが主催し、平成28年1月30日（土）・31日（日）、一関文化センター（一関市）にて、『第16回平泉文化フォーラム』を開催します。

今回の平泉文化フォーラムの開催に併せ、平泉文化をもっとよく知る「平泉文化フォーラム・バスツアー」を企画いたしました。往路の車中では、本学教員が解説を行い、平泉文化遺産センターを見学したのち、平泉文化フォーラムにご参加いただくコースとなっております。

この機会に専門家の解説を聴きながら、平泉文化に触れてみませんか？皆様のご参加をお待ち致しております。

《お申込方法》

電話、FAX、メールにてお申し込みください。

※FAX・メールによるお申し込みの際は、郵便番号・住所・氏名（読み方併記）、電話番号をご記載下さい。

**平成28年1月15日（金）
締切（先着順）**

《お申込み・お問い合わせ先》

岩手大学地域連携推進機構
TEL：019-621-6492、6852
FAX：019-621-6493
Eメール：renkei@iwate-u.ac.jp

第16回平泉文化フォーラム 1月30日(土)の内容

主催 岩手県教育委員会、いわて高等教育コンソーシアム(構成機関：岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学、放送大学岩手学習センター、一関工業高等専門学校)、岩手大学平泉文化研究センター

共催 一関市教育委員会、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会

日程 13:00～13:10 開会行事

13:15～14:45 基調講演

テーマ「日本史上の平泉の位置－古代国家から中世への変換－」

講師 東京大学大学院、平泉遺跡群調査整備指導委員 佐藤 信 氏

15:05～17:25 遺跡報告と共同研究発表

- 骨寺村荘園遺跡の調査成果
- 柳之御所遺跡の調査成果
- 共同研究発表「日本中世における平泉寺の立地について」
(岩手大学 平泉文化研究センター 伊藤 博幸 氏)
- 共同研究発表「ポータル複合x線分析による白磁と青磁の胎土分析」
(岩手大学 平泉文化研究センター 會澤純雄氏・平原英俊氏・三浦謙一氏)
- 共同研究発表「11世紀における陸奥と京都」
(東北歴史博物館 滑川 敦子 氏)

平泉文化遺産センター

「平泉文化遺産センター」は、世界遺産に登録された資産を含めた“平泉の文化遺産”の魅力を、パネルや映像などでわかりやすく紹介している施設です。

藤原氏を中心として、安倍氏の時代から現代にまで続く平泉に関連する歴史を時系列に分かりやすく展示しています。また「よみがえる平泉の時空」として町を掘る、読む、歩くという内容で、地形模型で映像や音声を交えて立体的に紹介しています。町内から出土した遺物も展示することにより、歴史を裏付ける資料として確認できます。



平泉町ホームページより引用

お申込みフォーム

ふりがな 氏名	電話	
	携帯電話	
	FAX	
住所		
E-mail		

お問い合わせ・お申込み先……岩手大学地域連携推進機構

T E L : 019-621-6492、6852 F A X : 019-621-6493 Eメール : renkei@iwate-u.ac.jp